

テスラを S&P 500 の構成銘柄に採用



Hamish Preston

S&P ダウ・ジョーンズ・インデックス
アソシエイト・ディレクター、米国株価指数

この資料は、2020年11月17日に弊社ブログ Indexology® に掲載された文書の翻訳版です。英語版と日本語版の間に内容の相違がある場合は英語をご参照下さい。

英語版：<https://www.indexologyblog.com/2020/11/17/tesla-added-to-the-sp-500/>

S&P ダウ・ジョーンズ・インデックスは昨日、テスラを 2020年12月21日（月）の市場開始前に **S&P 500®** に採用することを発表しました。指数委員会は、テスラを現在のどの構成銘柄と入れ替えるかについて決定していません。また、テスラの時価総額は非常に大きいため、どのようにテスラを採用するかについてもまだ決定しておらず、S&P ダウ・ジョーンズ・インデックスはこの問題に答えるために コンサルテーション を通じてフィードバックを募集しています。それでも、今回の発表により、指数の構築や指数の実施による影響を理解することの重要性が浮き彫りとなっています。

本稿では、S&P 米国指数メソドロジー 資料の概要や、テスラを採用することになった背景、テスラの採用に伴う市場への潜在的影響などについて簡単に説明します。

S&P 500 – 必ずしも米国で最も時価総額の大きい **500** 社から構成されているわけではない

S&P 500 は、米国大型株の動向を示す代表的な株価指数であり、2019年12月 現在、11兆2,000億ドル以上の運用資産が S&P 500 に連動しているか、または S&P 500 をベンチマークとしています。S&P 500 は米国株式市場のパフォーマンスの代名詞となっていますが、必ずしも米国で最も時価総額の大きい 500 社から構成されているわけではありません。

当社の株価指数メソドロジーでは複数の適格性基準を設けており、指数に新規採用される銘柄は、時価総額基準および流動性基準だけでなく、好業績の実績などの基準も満たす必要があります（ただし、これらに限定されません）。図表 1 はこれらの要件の概要を示しています。

適格性ルールを満たしているからといって、指数への採用が保証されるわけではありません。指数委員会では、S&P 500 の構成銘柄の変更を検討する際に、セクターの代表性 や 指数の売買回転率 といった複数の要素を考慮に入

れます。こうした構成銘柄に関する検討（およびその結果による構成銘柄の変更）は必要に応じて継続的に行われています。

図表 1：S&P 500 の採用基準の概要

採用基準	S&P 500、S&P 400、および S&P 600
収益基準	直近の四半期の利益がプラスであるとともに、直近の連続した 4 四半期の利益の合計がプラスである必要がある。*
流動性基準	浮動株調整後時価総額に対する年間売買高の比率が 1.0 以上である必要がある。また、評価日までの各 6 ヶ月間において、最低 25 万株の取引が行われている必要がある。
時価総額	S&P 500 については企業の調整前時価総額が 82 億ドル以上、S&P 中型株 400 については 24 億ドル以上 82 億ドル未満、S&P 小型株 600 については 6 億ドル以上 24 億ドル未満である必要がある。これらの範囲については随時見直しを行い、市場状況との整合性を確保する。**
浮動株基準	浮動株が発行済株式総数の 10%以上ある必要がある
新規株式公開（IPO）からの経過期間	IPO から 12 ヶ月経過している必要がある。
構成銘柄の国籍	米国企業である必要がある（固定資産、売上高、および上場などの複数の基準に基づく）。

出所：S&P ダウ・ジョーンズ・インデックス LLC。*2014 年以前には、S&P DJI の利益基準は、4 四半期の利益が連続してプラスであることを規定していました。現在は直近の連続した 4 四半期の利益の合計がプラスであることに変更されています。

**調整前時価総額基準を満たしている企業は、証券レベルの浮動株調整後時価総額基準もクリアする必要があります。証券レベルの浮動株調整後時価総額基準は、それぞれの指数における企業レベルの最低時価総額基準の 50%以上となります。

テスラの採用に伴う潜在的影響

テスラの浮動株時価総額は **3,040 億ドル**（2020 年 11 月 16 日の終値に基づく）であり、**S&P 500** への採用銘柄としては過去最大になると見込まれます。実際に、テスラの浮動株時価総額は、バークシャー・ハサウェイ（1,270 億ドル）の約 2.5 倍、フェイスブック（900 億ドル）の 3 倍近い規模となっています（それぞれが 2010 年 2 月および 2013 年 12 月に S&P 500 に採用された時点の時価総額）。

図表 2：S&P 500 への採用銘柄の概要

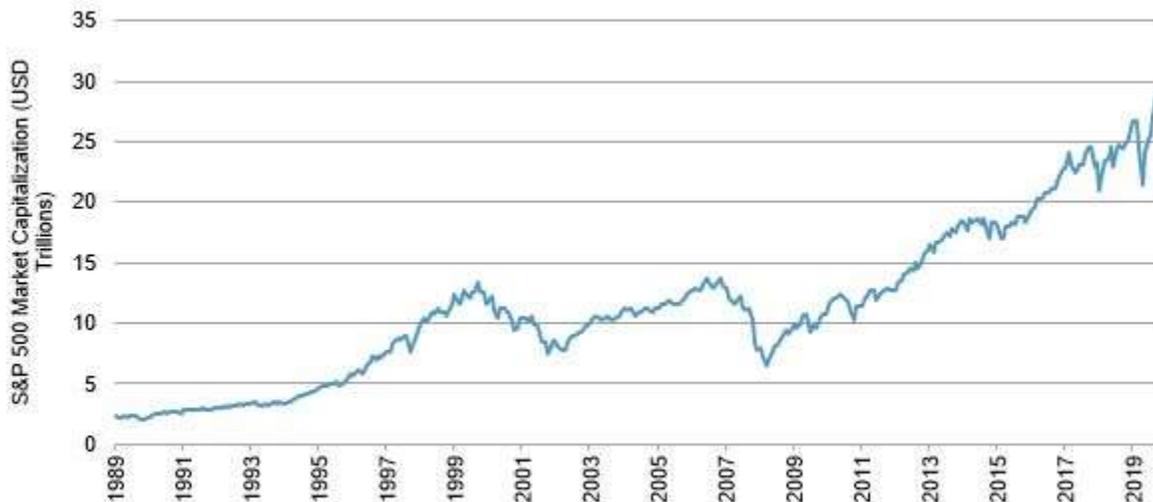
企業名	有効日	採用された時点のウェイト (%)	採用された時点の浮動株時価総額 (億ドル)
バークシャー・ハサウェイ B	2010 年 2 月 16 日	1.31	127.20
テスラ*	2020 年 12 月 21 日	1.00*	304.21*
ジェイディーエス・ユニフェーズ	2000 年 7 月 27 日	1.00	126.65
ユナイテッド・パーセル・サービス	2002 年 7 月 22 日	0.96	74.84
ヤフー	1999 年 12 月 8 日	0.78	91.61
クエスト・コミュニケーションズ	2000 年 7 月 6 日	0.76	94.68
アメリカオンライン	1999 年 1 月 4 日	0.73	73.30
グーグル	2006 年 4 月 3 日	0.67	78.83
フェイスブック	2013 年 12 月 23 日	0.56	90.62
ゴールドマン・サックス・グループ	2002 年 7 月 22 日	0.47	36.49

出所：S&P ダウ・ジョーンズ・インデックス LLC。2020 年 11 月 17 日現在のデータ。各銘柄は有効日の市場開始前に S&P 500 に採用されています。採用された時点のウェイトおよび指数における時価総額は有効日の市場開始時点のウェイトに基づいています。*テスラの情報は、2020 年 11 月 16 日の市場終了時点のデータに基づいています。過去のパフォーマンスは将来の結果を保証するものではありません。表は説明目的のために提示されています。

過去 10 年間にわたり、S&P 500 の時価総額は 9 兆ドルから現在では約 30 兆ドルまで増加しています。したがって、テスラが S&P 500 に採用された場合のウェイト（11 月 16 日の終値に基づく 1%）は、バークシャー・ハサウェイが採用された時点のウェイトである 1.3%を下回るようになります。

図表 3：S&P 500 の時価総額は過去 10 年間で 3 倍に増加している

Exhibit 3: S&P 500's Market Capitalization Has Trebled in the Last Decade



Source: S&P Dow Jones Indices LLC. Chart shows the total S&P 500 market capitalization between December 1989 and October 2020. Chart based on monthly data. Past performance is no guarantee of future results. Chart is provided for illustrative purposes.

出所：S&P ダウ・ジョーンズ・インデックス LLC。図表は、1989年12月～2020年10月のS&P 500の合計時価総額を示しています。図表は月次のデータに基づいています。過去のパフォーマンスは将来の結果を保証するものではありません。表は説明目的のために提示されています。

セクターの観点からすると、テスラの採用により、S&P 500における一般消費財・サービス・セクターのウェイトが高まる可能性があり、情報技術セクターに対するベンチマークの感応度が低下することになります。例えば、11月16日の市場終了時点で、テスラのすべての株式が一度に採用されると想定した場合、S&P 500の一般消費財・サービス・セクターのウェイトは12.08%となります（この数値は、通常500銘柄から成るS&P 500が501銘柄で構成されることを前提として算出されている。指数委員会は、テスラと入れ替える銘柄をまだ発表していない）。テスラの採用により、一般消費財・サービス・セクター内におけるウェイト配分も変化する可能性があります（テスラは今のところ、このセクターで2番目にウェイトの大きな構成銘柄になると見込まれる）。したがって、アマゾンに対するこのセクターの感応度が低下する可能性もあります。

図表 4：一般消費財・サービス・セクターの指数ウェイトは増加する

	コ ミ ュ ニ ケ ー シ ョ ン ・ サ ー ビ ス	一 般 消 費 財 ・ サ ー ビ ス	生 活 必 需 品	エ ネ ル ギ ー	金 融	ヘ ル ス ケ ア	資 本 財 ・ サ ー ビ ス	情 報 技 術	素 材	不 動 産	公 益 事 業
2020 年 11 月 16 日	10.97 %	11.20 %	6.90%	2.27%	10.31 %	13.95 %	8.74%	27.30 %	2.68%	2.61%	3.08%
採用後 (2020 年 11 月 16 日のデ ータに基 づく)	10.86 %	12.08 %	6.83%	2.25%	10.20 %	13.81 %	8.65%	27.03 %	2.66%	2.58%	3.05%
差異	- 0.11%	0.89%	- 0.07%	- 0.02%	- 0.10%	- 0.14%	- 0.09%	- 0.27%	- 0.03%	- 0.03%	- 0.03 %

出所：S&P ダウ・ジョーンズ・インデックス LLC。2020 年 11 月 16 日現在のデータに基づいて、テスラの採用による S&P 500 のセクター・ウェイトへの仮定の影響を示しています。表の数値は、すべて仮定に基づくものであり、テスラの浮動株時価総額の 100%を一度に S&P 500 に採用することを想定しています。表は説明目的のために提示されています。

このブログの記事は意見であり、助言ではありません。免責条項をお読み下さい。

S&P ダウ・ジョーンズ・インデックス免責事項

©S&Pグローバルの一部門である S&P ダウ・ジョーンズ・インデックス LLC 2020 年。不許複製。Standard & Poor's、S&P、は、S&Pグローバルの一部門であるスタンダード・アンド・プアーズ・ファイナンシャル・サービシーズ LLC (以下「S&P」)の登録商標です。「ダウ・ジョーンズ」は、ダウ・ジョーンズ・トレードマーク・ホールディングズ LLC (以下「ダウ・ジョーンズ」)の登録商標です。商標は、S&P ダウ・ジョーンズ・インデックス LLC にライセンス供与されています。本資料の全体または一部の再配布、複製、そして(または)複写を画面による承諾なしに行うことを禁じます。本資料は、S&P ダウ・ジョーンズ・インデックス LLC、ダウ・ジョーンズ、S&P 或いはそれぞれの関連会社(これらを合わせて「S&P ダウ・ジョーンズ・インデックス」という)が必要なライセンスを持たない地域におけるサービスの提供を行うものではありません。S&P ダウ・ジョーンズ・インデックス LLC が提供する全ての情報は、個人とは無関係であり、いかなる個人、事業体または集団のニーズに合わせて調整したものではありません。S&P ダウ・ジョーンズ・インデックスは、その指数を第三者にライセンス供与することに関連した報酬を受けています。指数の過去のパフォーマンスは将来の結果を保証するものではありません。

指数に直接投資することはできません。指数が表すアセット・クラスへのエクスポージャーは、指数に基づく投資可能商品を通して得られます。S&P ダウ・ジョーンズ・インデックスは、第三者が提供し、S&P ダウ・ジョーンズ・インデックスの指数のリターンに基づく投資リターンを提供することを目指す投資ファンド、或いはその他のビークルを提供、推奨、販売、宣伝、或いは運用することはありません。S&P ダウ・ジョーンズ・インデックスは、指数に基づく投資商品が指数のパフォーマンスに正確に連動し、プラスの投資リターンを上げることについて保証しません。S&P ダウ・ジョーンズ・インデックス LLC は投資顧問会社ではなく、S&P ダウ・ジョーンズ・インデックスは、そうした投資ファンド或いはその他の投資ビークルに投資する適否に関して表明することはありません。そうした投資ファンド或いはその他の投資ビークルへの投資決定は、本資料で言及されたいかなる部分も信頼して実行されるべきではありません。そうしたファンド或いはその他のビークルに投資しようとする投資家に対して、投資ファンド或いはその他のビークルの発行体またはその代理人が作成する目論見書または類似文書に記載されているように、そうしたファンドへの投資に伴うリスクを注意深く検討した上で投資することを助言します。指数への証券の組入は、S&P ダウ・ジョーンズ・インデックスによるその証券の買い、売り、または保有の推奨ではなく、また投資助言でもありません。S&P の米国のベンチマーク指数及びダウ・ジョーンズの米国のベンチマーク指数の終値は、S&P ダウ・ジョーンズ・インデックスが、指数構成銘柄の各主要取引所が設定する終値に基づいて計算します。終値は S&P ダウ・ジョーンズ・インデックスがサードパーティ・ベンダーの 1 社から受け取り、別のベンダーから届く価格と比較することにより検証されます。各ベンダーは終値を主要取引所から受け取ります。日中の実時間価格は、2 次検証を経ずに同様に計算されます。

これらの資料は、信頼できると考えられる情報源から一般に公衆が入手できる情報に基づき、情報提供のみを目的として作成されたものです。本資料に記載されるいかなる内容(指数データ、格付、クレジット関連の分析とデータ、モデル、ソフトウェア、或いはその他のアプリケーションまたはそれからの出力)も他のいかなる部分(以下「内容」という)も、S&P ダウ・ジョーンズ・インデックスによる事前の画面による承認なくして、いかなる形式と手手段によっても、改変、リパースエンジニアリング、再製作または配布、或いはデータベースまたは検索システムへの保存を行うことはできません。内容を、不法な或いは未認可の目的に使用してはいけません。S&P ダウ・ジョーンズ・インデックス及びいかなるサードパーティ・データ・プロバイダー及びライセンサー(合わせて「S&P ダウ・ジョーンズ・インデックス当事者」という)も、内容の正確性、完全性、適時性或いは利用可能性を保証しません。S&P ダウ・ジョーンズ・インデックス当事者は、いかなる過誤、遺漏についても、原因の如何を問わず、内容を用いて得られた結果について責任を負いません。内容は、「現状」ベースで提供されています。S&P ダウ・ジョーンズ・インデックス当事者は、特定の目的または利用に対する販売可能性または適合性についてのいかなる保証も、バグやソフトウェアのエラーまたは欠陥がないこと、内容の機能が中断されないこと、或いは内容が何らかのソフトウェアまたはハードウェア構成により動作することの保証も、以上を含みそれに限定されない、あらゆる明示的または暗示的保証も拒否します。S&P ダウ・ジョーンズ・インデックス当事者は、いかなる場合も、いかなる当事者に対しても、内容の使用に関連して発生する、いかなる直接的、間接的、偶発的、典型的、補償的、懲罰的、特殊な或いは結果的な損害、費用、経費、法的費用、或いは損失に対しても(逸失収入または逸失利益、及び機会費用を含みそれに限定されず)、たとえ損害の可能性について事前に通告を受けていようと、責任を負いません。

S&P ダウ・ジョーンズ・インデックスは、各事業部の活動の独立性と客観性を維持するために、それぞれの活動を他から隔離しています。その結果、S&P ダウ・ジョーンズ・インデックスの一部の事業部は、他の事業部では入手できない情報を保有する可能性があります。S&P ダウ・ジョーンズ・インデックスは、各分析プロセスの中で受け取った非公開情報の機密を守る方針及び手順を確立しています。

さらに、S&P ダウ・ジョーンズ・インデックスは、広範なサービスを、証券の発行体、投資顧問会社、証券会社、投資銀行、その他の金融機関及び金融仲介業者など多くの組織に提供しています。したがって、これらの組織から報酬その他の経済的便益を受ける可能性があります。これらの組織には、証券やサービスを推奨し、格付け評価し、モデルポートフォリオに組入れ、評価するか別の対応を行う組織が含まれます。

最新のブログ 「[Indexology](https://www.indexologyblog.com)」 (英語) をご覧になりたい方は、こちらのサイト

www.indexologyblog.com よりご登録いただくと、更新の都度メッセージが届きます。